

～森を学び、森で遊ぼう～

「学校林・遊々の森」 全国子どもサミットin九州

—美しい森林づくり推進国民運動—



主催：「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin九州実行委員会

《構成》林野庁 九州森林管理局 熊本県緑化推進委員会

(財)オイスカ 九州森林インストラクター会

協賛：Panasonic 日本コカ・コーラ(株) 九州電力(株) 熊本支店

くまもと阪神 個別指導 明光義塾

目 次

はじめに	2
プログラム	3
参加小学校の活動報告発表	
（ 1 ） 福岡県朝倉市立秋月小学校	4
（ 2 ） 福岡県立花町立北山小学校	6
（ 3 ） 佐賀県神埼市立脊振小学校	8
（ 4 ） 長崎県長崎市立横尾小学校	10
（ 5 ） 熊本県熊本市立芳野小学校	12
（ 6 ） 熊本県植木町立山東小学校	14
（ 7 ） 大分県日田市立高瀬小学校	16
（ 8 ） 宮崎県延岡市立港小学校	18
（ 9 ） 鹿児島県鹿児島市立武岡台小学校	20
（10） 山梨県大月市立鳥沢小学校	22
（11） 高知県奈半利町立奈半利小学校	24
発表の様子と講評	26
森のワークショップ	
森の神様	28
忍法！鳥よせの術！	29
森をつくろう！	30
森の生態博士になろう！	31
自然観察会	32
主催団体及び協賛団体等の紹介	34

はじめに

【全国子どもサミットの目的】

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットは、学校林活動に取り組む学校を広げていくことを目的として、昨年は高尾の森わくわくビレッジ（東京都八王子市）に学校林活動に積極的に取り組む小学校14校が全国から集まりました。今年には九州での開催ということで、「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin九州として、九州地域から9校、山梨県と高知県から各1校、計11校の小学校児童や先生方、一般の参加者など約100名が参加し、子ども達の学習・体験活動の発表や森のワークショップなどを行い、これらの情報発信を通じて、学校林や遊々の森での学習・体験活動の輪を全国に広げていこうとするものです。

【学校林とは】

明治時代に、森林の造成を通じ、青少年の林業教育、学校の基本財産の造成を目的に設定されました。

平成18年度時点で、全国の小学校、中学校、高等学校のうち3,057校において、約2万ヘクタールが設定されています。

学校林活動は、木材価格の低迷等による林業不振や学校カリキュラムの見直しにより停滞していました。

最近になって、総合的な学習時間の導入により、環境学習の場として、学校林活動が見直されつつあります。しかしながら、全体では各学校単独の活動にとどまり、地域的な広がりには欠けているのが現状です。

学校林活動を多くの学校に広げ、継続的に展開していくためには、学校同士の横のネットワークと地域社会、NPOの支援が課題と考えられます。

【遊々の森とは】

総合的な学習の時間などにおいて、学校等による森林環境教育の推進に寄与することを目的として、平成15年に創設された制度です。森林での学習活動、体験活動に国有林のフィールドを提供します。

自然観察、昆虫採集などの森林学習のほか、社会や理科、音楽などの授業、植林・間伐などの体験林業、ネイチャーゲーム、ツリーハウスなどの森林の遊び場として、継続的な利用が可能です。

平成19年度末現在、全国で139箇所が設定されています。

～森を学び、森で遊ぼう～

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin九州

プログラム

日時：平成20年8月4日（月）～5日（火）

場所：熊本市立金峰山少年自然の家（熊本市）

8月4日（月）

開会式	13:00～13:20
小学校児童による森での学習・体験活動発表会	13:20～14:50
森のワークショップ (講師：NPO法人くすの木自然館)	15:00～16:50
①「森の神様」……………	浜本奈鼓先生
②「忍法！鳥よせの術！」……………	立山芳輝先生
③「森をつくろう！」……………	芦原誠一先生
④「森の生態博士になろう！」……………	多賀良太先生
わかちあいの時間（各ワークショップの発表）	17:00～17:30
交流の時間	18:30～19:30

8月5日（火）

自然観察会 (講師：九州森林インストラクター会)	8:50～11:00
-----------------------------	------------

観音山とわたしたち

福岡県朝倉市立秋月小学校

6年 川上純司

6年 井上琴美

1 はじめに

福岡県朝倉市秋月は、古くから九州の小京都と呼ばれ、歴史と自然あふれるまちです。

春は桜、秋は紅葉が美しく、たくさんの観光客でにぎわっています。また、伝統ある特産品として和紙や葛などが有名です。

秋月小学校は、運動場を挟んで観音山という小さな山を所有しています。山頂に観音様を祭った小さなお堂があることから観音山と呼ばれています。

2 観音山の歴史

観音山は学校の南側に位置し、約2500坪の広さがあります。観音山は本校の出身者である土岐勝人氏が、「子供たちに伸び伸びと山を駆け回れるような林間学校をつくってほしい」という思いで、昭和50年に寄贈されたものです。

春は桜、竹の子、セリ、ゼンマイ、たくさんの草花
夏にはセミ、カマキリ、トンボなどの昆虫、そして秋には、もみじ、いちょうの紅葉と四季折々違った姿をわたしたちに見せてくれます。

わたしたちは、この山で学んだり、遊んだりという
いるな学習や活動を行っています。



【秋月小学校にある観音山】

3 学びの場としての観音山

一歩足を踏み入ると自然でいっぱいです。1・2年生の生活科では、季節の生き物や草花見つけをしています。理科の学習ではカマキリの卵を探したり、昆虫を採ったりしています。

総合的な学習の時間では「森林」について学びました。

地域の森林組合の皆さんに協力していただき、学校にある樹木の種類を調べたり、森林の大切さについて勉強したりしました。主な活動を紹介します。

○ 3年生 総合「観音山と友だちになろう」

- ・子ども樹木博士になろう

「どれだけ木の種類を知っているかな」

実は学校にはたくさんの木があることを知りました。

「くす」や「かえで」など30種類の葉から木の名前を調べていきました。

- ・ネイチャーゲームをしよう

身近にある自然だけれど、再発見がたくさん！

- ・観音山でしいたけを育てよう

原木にしいたけの菌打ち体験をしました。

日陰において栽培中です。

- ・自然を生かしてつくろう

観音山で拾った木々や木の実、つる、まつぼっくりで工作をしました。



【しいたけの菌打ち体験の様子】

- 4年生 総合「観音山をもっと知ろう」
 - ・観音山の歴史調べをし、文化祭で観音山のすばらしさを発表しました。
 - 「みんなでもっと大切にしよう」と呼びかけ清掃活動も行いました。
- 5年生 総合「森林からの贈り物」
 - ・子ども樹木博士になろう
 - 森林や環境問題について調べたことを発表し、森林組合の方をゲストティーチャーに招いてアドバイスをいただきました。



【木の種類について説明を受けている様子】

4 遊びの場としての観音山

自然がいっぱいの観音山では休み時間にもいろいろな発見があります。



【草スキー場で遊んでいる様子】

虫とりや野いちご集め、鬼ごっこにかくれんぼと観音山ではどんな遊びでもできます。また、これまでにPTAの方が作ってくださったターザンロープなどの遊具で休み時間もにぎわっています。

中でも大人気の遊びが「草スキー」です。「子供たちがもっと楽しく観音山で遊べる環境を作るため、山の斜面を利用した観音山草スキー場を作ろう！」と「観音山を育てる会」の方々とPTAの協力で昨年の9月に手作りの草スキー場が完成しました。広さ250㎡の斜面に一枚一枚、約2000枚の芝を張ってもらいました。順番待ちの友達で行列ができるほどです。

5 地域ともつながる観音山

観音山はこれまでに、観音山ステージの設置や山の整備など子どもたちが安全に楽しく遊ぶことのできるように「観音山を育てる会」の方々を始め、たくさんの保護者・地域の方の整備作業に支えられてきました。

子どもだけでなく、地域の宝でもあります。

また、昨年度は観音山ステージで、「ふれあいコンサート2007」を開催しました。プロの童謡歌手を招いての童謡コンサートや地元の中学生によるコーラスで観音山には歌声が響き、学校や地域の方がたくさん集まりました。

観音山は地域と学校をつなぐ秋月校区のふれ合いの場となっています。



【観音山ステージでのふれあいコンサート】

6 おわりに

観音山は休み時間になるとみんなの笑い声が響く素敵な山です。耳をすませば、鳥のさえずり、虫の鳴き声。運動場の向こう側からいつも私たちのことをじっと見守ってくれています。

これからも秋月小学校の観音山を、学びの場・遊びの場、そして学校と地域のふれ合いの場として大切にしていきたいと思えます。



【観音山から眺めた校舎】

私たちの「飛形（とびかた）」活動

福岡県立花町立北山小学校

6年 朽網茉理乃

6年 持丸紗輝

1 はじめに

福岡県…九州北部に位置し、福岡市・北九州市など商業都市を有する。

また、海・山・川等人々の心身を癒す自然環境にも恵まれている。

八女郡…福岡県の南部に位置し、立花町・広川町・黒木町・矢部村・星野村の3町2村よりなる。

本校…立花町5小学校の内の1校。全校児童134人。7学級（特別支援学級1学級を含む）。

飛形山のすそ野に位置し、矢部川・千間土居・大塚古墳といった自然・名勝に囲まれている。特色…飛形学習



本校の茶畑でのお茶摘み

飛形学習

飛形学習とは、本校を取り巻く自然環境を観察し、親しみ、守り育もうとする学習のことである。

子どもたちが主体的に自然に関わり、自然に親しみながら豊かな情操を培うことを目的としている。（生活科・総合的な学習の時間・学校行事等で活動の場を保障する。）

2 主な飛形活動

(1) 4月…竹の子掘り

- 4年生が学校西側の竹林で、竹の子掘りを行う。掘った竹の子は学校給食で食べる。



本校西側の竹林で竹の子掘り



本校給食室前で竹の子の皮むき

(3) 5月…お茶摘み

- 1年生～6年生までの縦割り班8班で学校の茶畑で緑茶を摘む。摘んだ茶葉は校区のお茶工場に持って行き、製茶してもらう。その後1人あたり1袋（100g）を家庭に持ち帰る。

(4) 6月…田植え

- ペア学年で田植えをする。

(5) 6月…花苗運動

- 3年生以上で学校を飾る花苗を植える。



本校北側の水田で田植え

(6) 7月…竹灯籠作り

- 灯籠竹灯籠に張る和紙に模様を描く。
灯籠にロウソクをともし、夏祭りに飾る。

(7) 10月…稲刈り

- ペア学年で稲刈りをする。
収穫した稲は校区の精米所に運び、脱穀したあと、
精米所で、精米し、その後全校児童の学校給食と
して生かす。



本校北側の水田で稲刈り

3 野鳥観察 (バードウォッチング)

(1) 八女農林事務所より、身近な野鳥の観察指導を受ける。

- 本校に野鳥観察指導の指導者を招き、野鳥の種類やその特徴・実際の観察の仕方を学ぶ。(10月頃)
- 教室で観察方法や各種野鳥の特徴を一通り学んだあと、実際に近くの河原で観察を行う。



教室で野鳥の観察指導



ガイドブックで野鳥の学習



実際の野鳥の観察指導



矢部川近くの千間土居で野鳥の観察

5 おわりに

本校は緑豊かな自然に恵まれているとはいえ、なかなか身近な自然に接する機会は少ない。そこで、意図的・計画的に、茶摘みを経験させたり、近くの水田で田植えや稲刈りをしたり、河原で野鳥の観察をしたりとより多く自然に接し、感じ取るものから豊かな情操と自然を大切にしようとする心情を育てて行かなくてはならない。また、自分たちの感じ取ったものをより多くの人々に伝え、表現する中で積極的に自然に接しようとする態度も育てて行かなくてはならないと考えている。

私たちの「遊々の森」活動

佐賀県神埼市立脊振小学校

6年 井上彩泉

6年 坂口笑美

6年 納富咲希

1 はじめに

○佐賀県神埼市脊振町



- ・佐賀県の東部
- ・北は脊振山地をはさんで福岡県と接している。
- ・東の吉野ヶ里町には有名な吉野ヶ里遺跡



吉野ヶ里歴史公園

○本校



- ・明治8年創立
- ・市の北部 児童数110名 学級数7
- ・「石の門の教え」
 - ① 心の大きい やさしい子
 - ② 体の丈夫な たくましい子
 - ③ 意志の強い やりぬく子
 - ④ 故郷を愛し 学業にはげむ子
 - ⑤ 品のある 礼儀正しい

2 遊々の森活動

- ・平成15年8月25日、協定締結
- ・脊振山国有林約23haで活動
- ・主な活動は、「森林学習」「枝打ち体験作業」「本立て作り」(平成19年度)

(1) 森林学習

- ・人工林と天然林のちがい
- ・枝打ち作業の意義
- ・森林の役割と働き等について、森林管理署の方より指導を受けた。



(2) 枝打ち体験作業

- 枝打ち作業の仕方を教えてもらってから、高枝鋸を使って、枝打ち体験をした。(4・5・6・年児童 53名)



(3) 本立て作り

スギ板を使った本立て作りに挑戦した。森林管理署、NPO森林監視隊の方に作り方を指導してもらいながらの製作だったが、可動部分がある本立てだったので、組み立てが難しく、時間がかかったが、全員、立派に完成することができた。

(5・6年児童 38名)



3 その他の森林に親しむ活動

(1) 緑の少年団

4月29日の「昭和の日」に、小城市の牛津総合公園で行われた「グリーンフェスタ」に参加し、植樹をした。6年生を中心に、緑を守り育てる活動に取り組んでいる。



(2) シイタケ栽培

地元林業や特産物であるシイタケ作りを理解するために、地元の森林組合やシイタケ生産組合等の協力で、シイタケのほだ木の伐採やコマ打ち作業を行っている。体験作業の後は、学校の敷地内で栽培観察し、採れたシイタケは給食に利用している。

(3) 1年生の植樹

1年生は、毎年、入学時に記念植樹を行っている。今年は、運動場にアラカシの木を植えた。



4 おわりに

本校は、山間部に位置しているが、児童が普段の生活の中で森林について学んだり体験したりすることは、ほとんどない。これからも、「遊々の森」やいろいろな森林体験活動を通して、自分の身近にある自然について知り、大切に守っていかうという気持ちを育ててほしい。